吸水試験

○概要

粘土瓦は屋根材として雨や雪にさらされるため、防水性が必要です。粘土瓦の吸水率はJIS規格で定められており、ゆう薬がわらで12%以下、いぶしがわらで15%以下、無ゆうがわらで12%以下となっています。三河窯業試験場では、JIS A 5208に準じて瓦の吸水試験を行っており、粘土瓦の防水性能を評価しています。

○試験方法（JIS A 5208 5.4 より）

①乾燥時の質量の測定は、試験体を空気乾燥器に入れ、その温度を約110℃に保ち、24時間以上経過した後取り出して室内に静置し、室温に達したときの質量とする。
②①の試験体を水温 15～25℃の清水中にこば立てし、その上面が水面下約 10ｃｍになるように全形を浸し、24時間以上経過した後取り出し、手早く湿布でふき、直ちに測定したときの質量とする。
③吸水率は、次の式によって算出する。

$$吸水率(\%)=\frac{吸水時の質量(g)—乾燥時の質量(g)}{乾燥時の質量(g)}\times 100$$



図　試験装置

■　問い合わせ先　常滑窯業技術センター三河窯業試験場
〒447-0861　碧南市六軒町２丁目１５番地 TEL:0566－41－0410
FAX:0566－43－2021